

2023年7月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

福島復興本社における
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

- 原子力損害賠償の進捗状況 _____ 1 ～ 2
- 福島復興へ向けた取り組み _____ 3 ～ 7

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

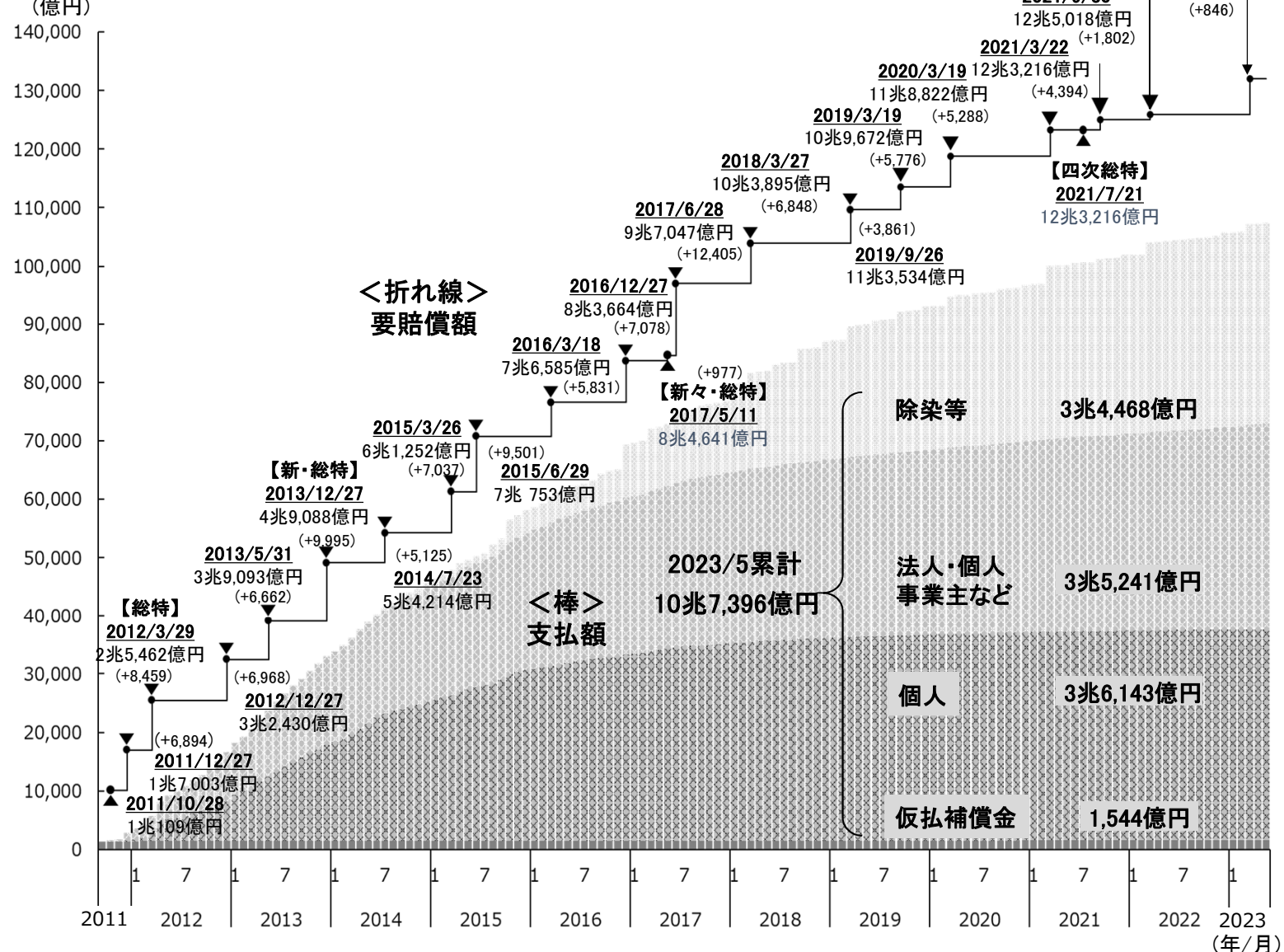
2023年5月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など ※3
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,535,000件	約555,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,335,000件	約476,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆6,143億円	約6兆9,710億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約10兆5,853億円 ①
仮払補償金		約1,544億円 ②
お支払い総額		約10兆7,396億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

※3 除染等費用を含んでおります。



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2023年3月24日資金援助額変更申請)	賠償合意実績* (2023年5月末現在)
I. 個人の方に係る項目	24,776億円	20,195億円
検査費用等	3,511億円	2,834億円
精神的損害	13,612億円	10,996億円
自主的避難等	4,915億円	3,642億円
就労不能損害	2,737億円	2,723億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	34,033億円	32,703億円
営業損害	5,600億円	5,574億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	19,910億円	19,578億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,341億円	2,638億円
間接損害等その他	5,181億円	4,912億円
III. 共通・その他	22,641億円	20,033億円
財物価値の喪失又は減少等	15,586億円	14,898億円
住居確保損害	6,804億円	4,884億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	50,587億円	34,468億円
合計	132,039億円	107,400億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 81%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難、帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	

<ADRの対応状況>

2023年5月31日現在

申立件数		29,340件
解決件数	全部和解件数	28,227件
	取下げ件数	22,447件
	打切り件数	3,265件
	却下・和解の仲介をしない	2,513件
		2件
現在進行中の件数		1,113件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは29,219件(5月26日現在)、月平均で約120件(2023年)

※現在進行中の件数のうち、19件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,498億円

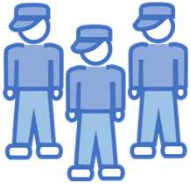
出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

福島復興へ向けた取り組み

福島復興へ向けた取り組み実績

■ 2023年5月までの実績

環境再生・復興推進活動



活動人数
1,110,460人
(前月比+4,209人)

復興本社設立(2013年1月)からの累計

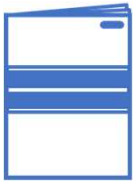
環境再生・復興推進活動



対応件数
1,208件/年度*
(前月比+488件)

※2023年度の累計

原子力損害賠償



賠償お支払総額
約 10兆7,396億円
(前月比+81億円)

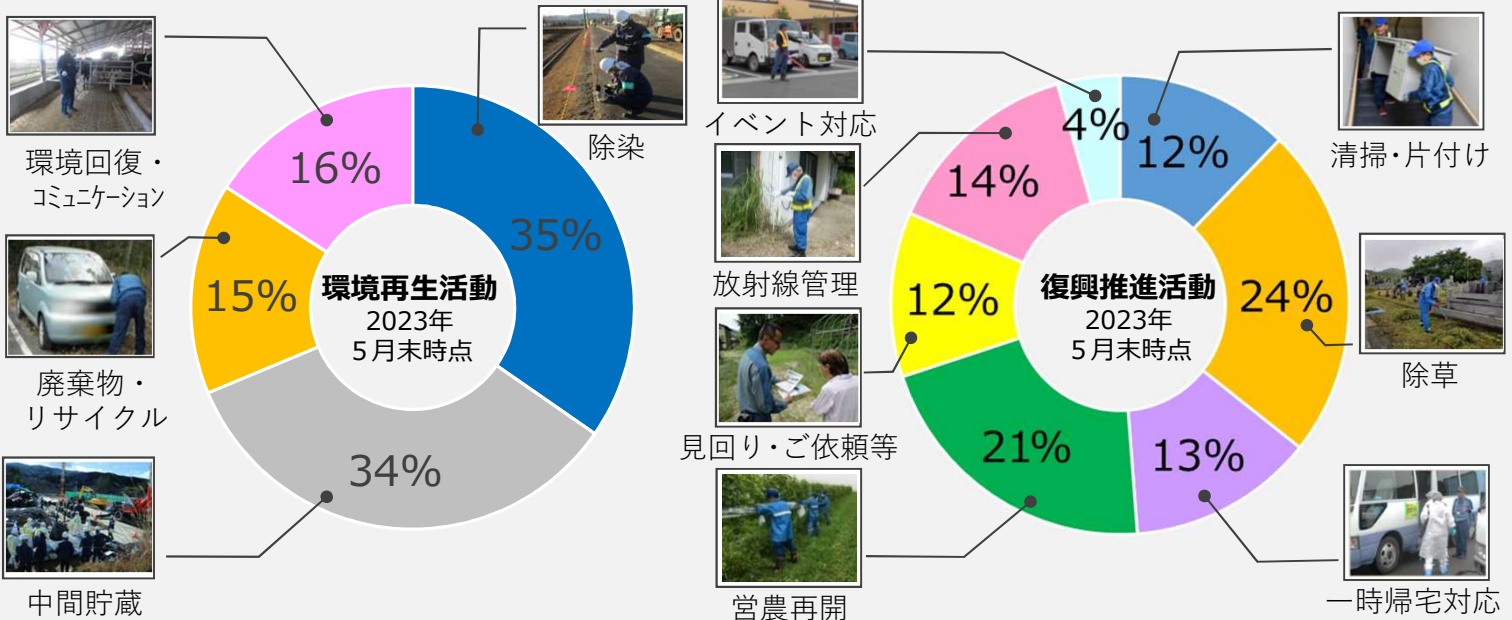
流通促進活動



イベント開催日数*
29,760日
(前月比+928日)

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計
※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア等

■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合



■ 今後の主な活動予定

【凡例】【環】・・・環境再生活動 【復】・・・復興推進活動 【流】・・・流通促進室活動 【他】・・・その他

【復】 7月地域行事・イベントへの協力

【流】 7月の福島県産品販売会の主な開催予定

【イベント】

①二子玉川ライズガレリア桃フェア 7月29日(土)～30日(日)

【小売店催事・首都圏】

②クイーンズ伊勢丹様 7月27日(木)～30日(日)

【小売店催事・県内】

③リオン・ドール様(68店舗) 7月14日(金)～7月17日(月・祝)

④いちい様(14店舗) 7月15日(土)～7月20日(木)

⑤スーパーマート様(36店舗) 7月22日(土)～7月24日(月)

福島復興へ向けた取り組み①

環境美化活動を通じた地域コミュニティへの参加

取組内容

- 富岡町、広野町では町内の環境美化活動として「花いっぱい運動」が行われました。また、楡葉町では「春のクリーンアップ作戦」が開催されました。
- 当社は、地域の皆さまと一緒に町の清掃や花植えに参加させていただきました。

「花いっぱい運動」【富岡町 6月4日（日）】【広野町 6月10日（土）】

- ・ 富岡町では、行政区長さまを訪問させていただいた際に、お声掛けいただいたことがきっかけで、町内の公園の清掃や駅前などの花植えを行いました。
- ・ 広野町の二ツ沼総合公園では、広野町振興公社さまからお声掛けいただき、花壇の整備や花植えなどを地域の皆さまと一緒に行いました。



「春のクリーンアップ作戦」【楡葉町 6月4日（日）】

- ・ 楡葉町からお声掛けいただき、地域の皆さまや地元企業の方と交流させていただきながら、行政区内の清掃や駅前などで花植えを行いました。



福島復興へ向けた取り組み②

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのフェア開催（7月予定）～



夏のおいしいふくしまフェア（7/1～8/9）

2回目の開催!

- 東急グループ様と連携し、東急電鉄沿線4エリア(二子玉川、青葉台、たまプラーザ、日吉)で福島県産生鮮フェアや福島県産食材を使ったレストランフェアを開催します。(下図①～④)
- 二子玉川エリアでは、7/29(土)と30(日)に、二子玉川ライズ ガレリアを会場に、最盛期を迎える「ふくしまの桃」を中心とした県産品PRイベントを開催します。(下図⑤)

生 生鮮フェア レ レストランフェア イ イベント

7月			8月	
上旬	中旬	下旬	上旬	
①二子玉川				
<p>生 7/21-23 二子玉川東急フードショー</p> <p>レ 7/1-31 二子玉川ライズショッピングセンター/ドッグウッドプラザ 二子玉川エクセルホテル東急</p> <p>イ 7/29-30 二子玉川ライズガレリア</p>	<p>②青葉台</p> <p>生 7/22～23 青葉台東急フードショー、アトリウム</p> <p>レ 7/20～8/2 青葉台東急スクエア レストランフロア</p>			
③日吉				
<p>生 7/21-23 日吉東急フードショー ※レストランフェア開催なし</p>				
④たまプラーザ				
<p>生 7/28～30 たまプラーザ東急フードショー</p> <p>レ 7/27～8/9 たまプラーザ レストランフロア</p>				
<p>⑤二子玉川ライズガレリア イベント内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ふくしまの桃を中心とした福島県産品の販売、キッチンカー“ふくしまレストラン”の出店 ● 公式アンバサダー箭内夢菜（やない ゆめな）氏によるトークショー ● スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチームによるフラダンスショー 				



※写真はイメージです



J-WAVE INSPIRE TOKYOへの出店



初出店!
新メニューを販売

期間 7月15日(土)～7月17日(月/祝) 11:00～21:00 ※17日は20:00迄

場所 国立代々木競技場 第一体育館エリア

➢ 「発見! 福島」キッチンカーが、東京のFMラジオ局「J-WAVE」主催のライブイベント「INSPIRE TOKYO - BestMusic & Market」に初出店し、福島県産食材を使った新メニューなどを販売します。

「発見! 福島」食べて贈ってふくしまの桃・イッピンまつり2023開催中 6月1日(木)～7月31日(月)

➢ 6月1日より開始したECサイトキャンペーンでは、これから最盛期を迎える桃を中心に、全国各地の皆様にお買い上げいただいております。

販売点数: 約6,500点 (対前年同期比約106%)

※6月25日時点

詳細はキャンペーンページをご覧ください。



福島復興へ向けた取り組み③



福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのフェア開催（6月実績）～



花と平和の祭典「2023ひろしまフラワーフェスティバル」の 全国観光・物産展(6/10～11)

中国地方
初出店

- 広島市平和大通り・平和記念公園で開催された「ひろしまフラワーフェスティバル」の観光物産展で「発見! ふくしま」3ブースを初出店しました。
- 福島県産の魚介類を使用した料理を提供し、中国地方の皆さまに「常磐もの」の美味しさや魅力をPRしました。

実績

来場者120万人、販売数3千食完売



大勢の来場者



「発見! ふくしま」ブースの様子



テレビ中継風景

米国・ニューヨーク「Summer Fancy Food Show 2023」 ジャパンパビリオンへの出展(6/25～6/27)

- 米国東海岸最大級の高級食品見本市「Summer Fancy Food Show 2023」に「発見! ふくしま米」を出品し、来場者やバイヤーの皆さまに試食PRを行いました。
- 福島県産米への関心は高く、米国内に留まらず、世界各国のバイヤーやレストランオーナーからも好評で、美味しさや魅力をお伝えすることができました。



出展ブースの様子



試食PRの様子

福島復興へ向けた取り組み④

【トピック】福島復興本社 新復興推進体制のご紹介

- 2023年7月1日より、福島復興本社の体制が新しくなりました。
- 「福島への責任を果たす」ことが我々の使命であり、原点であることをしっかりと胸に刻み、これからもグループ一丸となり、新体制になっても各自がそれぞれの役割をしっかりと担うことで、福島への責任を果たしてまいります。

※ ★が新任者

復興調整部：

国、自治体と連携した復興本社の施策、地域の皆さまからのご要望への対応策の立案等を担います。



復興調整部長
田中 伸行

福島原子力補償相談室：

迅速かつきめ細やかなお支払いに向けた賠償業務を担います。



福島原子力補償相談室長
弓岡 哲哉

復興推進室：

ご帰還や地域復興を実現するための取り組みである復興推進業務を担います。



復興推進室長
石崎 年博



福島復興本社代表
高原 一嘉

福島復興のため、新体制のもと、
全力を尽くしてまいります。

環境再生室：

国・自治体による除染・中間貯蔵・廃棄物事業の推進、農林業再生、再工業施策等に向けた人的・技術的協力を担います。



環境再生室長
白井 真

ふくしま流通促進室：

福島県産品の販路開拓・購入促進に向けた取り組み等を担います。



ふくしま流通促進室長
小川 光久

福島広報部：

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の廃炉や、賠償・環境再生・復興推進等の取り組みの広報業務を担います。



福島広報部長
玉置 素康 ★